

令和6年 第1回

戸田市教育委員会定例会

令和6年1月18日

戸田市教育委員会

第1回教育委員会（定例会）次第

- 1 開会
- 2 前回の会議録の承認
- 3 校長プレゼン 別添 「戸田中学校区小中一貫教育」
- 4 教育委員提案 別添 資料 1のとおり
- 5 報告事項 別添 資料 2のとおり
- 6 議事 ページ
 - (1) 議案

議案第1号	令和5年度一般会計（教育委員会関係）3月補正予算（案）について【秘密会】…	1
議案第2号	令和5年度海外留学奨学事業特別会計3月補正予算（案）について【秘密会】…	1 2
議案第3号	令和6年度一般会計（教育委員会関係）予算（案）について【秘密会】……………	1 3
議案第4号	令和6年度海外留学奨学事業特別会計予算（案）について【秘密会】……………	1 7
- 7 その他
 - (1) 次回の教育委員会の日程（案）

令和6年2月15日（木）午前9時30分～
 - (2) その他
- 8 閉 会

2月教育委員会関係〔会議〕日程表

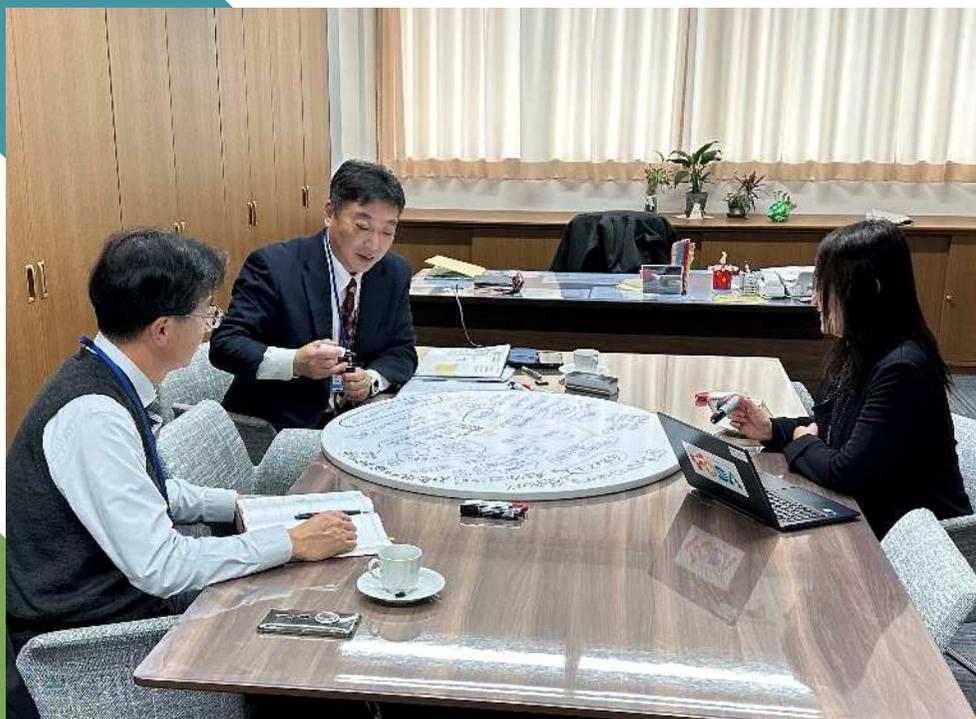
日	曜日	会議名	内 容	時 間	場 所	主管課
1	木					
2	金					
3	土					
4	日					
5	月					
6	火					
7	水					
8	木					
9	金	第3回戸田市子供の体力向上推進委員会	体力向上に関する研究	15:30～16:30	教育センター	教育政策室
		第3回教育情報マネジメント研修会	教育情報管理担当者向けの情報マネジメント	15:30～16:30	オンライン	教育政策室
10	土					
11	日					
12	月					
13	火					
14	水	第3回特別支援教育コーディネーター研修会	特別支援教育コーディネーター向けの研修	15:30～16:30	教育センター	教育政策室
15	木					
16	金	第3回カリキュラムコーディネーター研修会	主幹教諭・教務主任向けの研修	15:30～16:30	教育センター	教育政策室
17	土					
18	日					
19	月	公民館運営審議会	公民館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施について調査・審議する。	10:00～11:30	新曽公民館	生涯学習課
20	火	第4回戸田市小中学校生徒指導委員会	生徒指導に関する研究	15:00～16:30	教育センター	教育政策室
21	水					
22	木					
23	金					
24	土					
25	日					
26	月					
27	火					
28	水	第2回カリキュラム・マネジメント研修会	学校管理職を対象とした研修会	10:00～11:30	オンライン	教育政策室
29	木	第2回学校応援団実行委員会	学校応援団事業に係る会議	18:00～19:00	教育センター	教育政策室

2月教育委員会関係【行事・講座等】日程表

日	曜日	会議名	内 容	時 間	場 所	主管課
1	木	託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	9:30～10:20 10:30～11:20 11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館	生涯学習課
		新首小 開校記念日				
2	金	美笹のおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊びなど	10:00～10:30	美笹公民館 親子ふれあい広場	生涯学習課
		赤ちゃんおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など。	11:00～11:30	あいパル2階 和室	生涯学習課
		ととけっこの部屋	親子で一緒にわらべうたで遊び、絵本の読み聞かせを楽しむ	11:00～11:30	中央図書館	生涯学習課
		笹目東小 学校訪問		9:00～16:30	笹目東小学校	教育政策室
3	土	スマホ・パソコン質問コーナー	パソコン・スマートフォン・タブレット等の基本操作などの各種IT相談	9:00～12:00	美笹公民館	生涯学習課
		子供映画会	「なかよしおぼけ」(42分) 「こどもにんぎょう劇場⑤世界編 けものの城」(15分)	10:30～11:30	中央図書館	生涯学習課
		おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	15:30～16:00	中央図書館	生涯学習課
4	日					
5	月	生活習慣病を予防しよう	日常の運動や食生活の中で生活習慣を見直し、生活習慣病やメタボ予防について学ぶ。	10:00～11:00	あいパル1階 多目的室	生涯学習課
6	火	[市民大学] 茶道講座	茶道(裏千家)を初歩から学び、教養を高める (4回目:全5回)	10:00～12:00	新首公民館	生涯学習課
		戸田中スキー教室(～8日)				
		喜沢中スキー教室(～8日)				
7	水					
		新首中社会体験チャレンジ(～9日)				
8	木	託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	9:30～10:20 10:30～11:20 11:30～12:20 のいずれか1回50分	郷土博物館 3階講座室	生涯学習課
		笹目小 学校訪問		9:00～16:30	笹目小学校	教育政策室
9	金					
10	土	ファミリー講座バレンタインのお菓子作り	楽しみながら美味しいチョコレートケーキの作り方を学ぶ	10:00～12:30	美笹公民館	生涯学習課
		古典講座(次回大河ドラマの主人公「紫式部」の生涯) 主人公「紫式部」の生涯	次回大河ドラマの主人公「紫式部」の生涯と周辺の間模様を古典から学ぶ	10:00～11:30	下戸田公民館	生涯学習課
		スマホ・パソコン質問コーナー	パソコン・スマートフォン・タブレット等の基本操作などの各種IT相談	13:00～16:00	下戸田公民館	生涯学習課
11	日	[市民大学] 彩湖周辺の野鳥観察	彩湖に飛来した冬鳥を講師と一緒に観察する	10:00～12:00	彩湖自然 学習センター	生涯学習課
12	月	お寺でこわいおはなし会	3歳児～小学校低学年向けの絵本の読み聞かせ、おはなしなど。	10:30～11:30	海禅寺 会場は変更になる場合があります	生涯学習課
		新首北小 開校記念日				
13	火	[市民大学] 茶道講座	茶道(裏千家)を初歩から学び、教養を高める (5回目:全5回)	10:00～12:00	新首公民館	生涯学習課
14	水					
15	木					
16	金					

日	曜日	会議名	内 容	時 間	場 所	主管課
17	土	古典講座(次回大河ドラマの主人公「紫式部」の生涯)	次回大河ドラマの主人公「紫式部」の生涯と周辺の人間模様を古典から学ぶ	10:00~11:30	下戸田公民館	生涯学習課
		【市民大学】現代課題講座	情報に惑わされないための4つのジューモン	14:00~15:30	文化会館	生涯学習課
		昔の道具を使ってみよう	千歯こき、唐箕などを使って米の脱穀、選別、もみすり、精米を行う	10:00~11:30	郷土博物館	生涯学習課
		昔のくらし展関連事業	昔のくらし展の解説	14:00~14:30	郷土博物館	生涯学習課
18	日	スマホ・パソコン質問コーナー	パソコン・スマートフォン・タブレット等の基本操作などの各種IT相談	13:00~16:00	新曽公民館	生涯学習課
		竹を使ったものづくり	竹を使った工作	10:00~12:00	彩湖自然学習センター	生涯学習課
19	月					
20	火					
21	水					
22	木	戸田東小 開校記念日				
23	金					
24	土	喜沢小 開校記念日				
25	日	冬の虫さがし	冬越しをしている昆虫たちをそっと探してみる	10:00~12:00	彩湖自然学習センター	生涯学習課
26	月					
27	火	絵本の読み聞かせ広場	絵本の読み聞かせ・紙芝居等	10:30~11:30	下戸田公民館	生涯学習課
28	水					
29	木					

令和6年1月18日（木）
戸田市教育員会定例会



戸田中学校区の 小中一貫教育に ついて

戸田第一小学校長	大沼	公子
戸田南小学校長	大森	雅彦
戸田中学校長	山田	一文



戸田中学校区の紹介



戸田第一小学校

開校 147周年

児童数 869名

学級数 26 特支 4

教職員総数 62名

学校教育目標

「気づく・創る・助け合う」



戸田中学校

開校 77周年

生徒数 663名

学級数 18 特支 2

教職員総数 57名

学校教育目標

「自主協調」



戸田南小学校

開校 56周年

児童数 769名

学級数 24 特支 3

教職員総数 59名

学校教育目標

「気づく・助け合う・きたえる」

地域と児童生徒の特徴

- ・ 国道17号線の西側、戸田公園駅周辺の学区
- ・ 新しい住宅やマンションの多い住宅街
- ・ 荒川周辺やポートコース等、自然も豊富
- ・ 子供の知的な好奇心、学力はとても高い
- ・ その一方でメンタルの弱い子が多いと感じる
(失敗を恐れる、自分の非を認められない)

戸田中学校区では、小中一貫教育に関する取組を、
次の**目的別の取組に整理**しました。

連続性のある
学習指導の
ための取組

切れ目ない
生徒指導の
ための取組

教員の意識
改革のための
取組

連続性のある学習指導のための取組(1)

9年間を通したカリキュラムに 関する課題

- ・各学年間、小中間で分断された学習指導
(学習指導要領で系統性を確認する必要)
- ・教員の引き継ぐ意識・引き受ける意識
(学びを整える中学校リスタートプログラム)
- ・学び方のフォーマットの共有
- ・3校PBL研究からの展開



連続性のある学習指導のための取組(2)

9年間を通したカリキュラムを
意識するために

(教員の引き継ぐ意識・引き受ける意識)

【3校合同研修会の開催】

- ・ 8月にオンラインで実施
- ・ 国語、社会、算数・数学、理科、英語、教育相談、デジタルシティズンシップ、働き方改革の8部会
- ・ 各部会で、担当校による実践の提案と協議
- ・ 9年間を通したカリキュラムの意識化



連続性のある学習指導のための取組(3)

9年間を通じたカリキュラムを意識するために

(教員の引き継ぐ意識・引き受ける意識)

【中学校でのリスタートプログラム】

- ・中1の4月に授業で実施
- ・学び方を把握し小学校間の差を解消
- ・線ではなく帯でつなぐ学習支援
- ・PBL対応からの展開

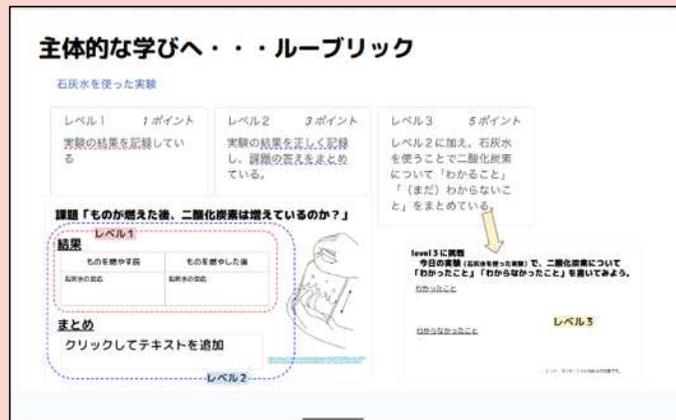


連続性のある学習指導のための取組(4)

9年間の学び方の共有

(例)理科部会

- ・ICTの活用による授業展開例
- ・学習の課題とめあての持たせ方
- ・予習等家庭学習の提示について



グループディスカッション (~14:25)

小学校から中学校へ...

- 授業におけるデジタルの活用について
- 主体的・対話的な学びについて

→MeetのRoom 1~3に入り直してください。

グループディスカッションの共有 (~14:35)

協議時に、発表者も決めておいてください。

→このClassroom Meetにお戻りください。

連続性のある学習指導のための取組(5)

3校PBL研究からの展開

- ・キャリアリンクによるPBL理解研修
- ・各校の校内研修を中学校区内交流研修に展開
- ・戸一小の研究授業、研究協議会に、戸南小、戸田中が参加
- ・戸田中の支援担当訪問を戸一小、戸南小が見学
- ・小学校でのPBLの学びを中学校への円滑な接続を目指す
- ・3校合同のグランドデザイン作成(令和5年12月以降)

後ほど説明

切れ目ない生徒指導のための取組（１）

小中間の生徒指導の課題



中１ギャップへの対応は？

あいさつ そうじ

小学校での生活指導

に課題はないのか？

中学校は厳しいところ？

型にはめるのが教育か？

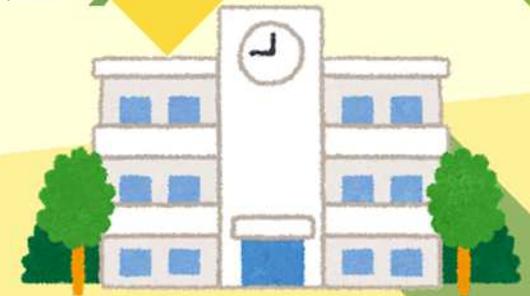
扱いやすいのがいい生徒？

小学校卒業までが役目？

切れ目ない生徒指導のための取組（2）

中1ギャップの解消・緩和

児童生徒の心理的な安全・安心・安定の促進のために



- 教員レベルでの小中相互理解と目標の共有
- 綿密な引継ぎと手立ての共有
- 一人一人の多様なニーズに応じた教育相談
- 教育総合データベースの有効活用



切れ目ない生徒指導のための取組（3）

生徒指導重点加配教員による連携



戸田中：教育相談部会

南小：学年会、6年授業

戸田翔陽：いっぽ

戸一小：学年会、6年授業

教員の意識改革のための取組(1)

学校教育目標と目指す児童生徒像の構造理解

自ら人生を切り拓く生徒

戸田中

「自主協調」



「気づく・創る・助け合う」

戸一小

「気づく・助け合う・きたえる」

戸南小

教員の意識改革のための取組(2)

育成を目指す資質・能力グランドデザインの作成

目的 3校で育成を目指す資質・能力を言語化し、戸田中学校区で共通の視点・言語をもって非認知能力の育成ができるようにする。

スケジュール

令和5年	12月	各校の研究資料収集
令和6年	1月	キャリアリンクによるヒアリング
令和6年	2月	グランドデザイン案の作成
	3月	グランドデザイン案の完成
	4月	グランドデザイン案による研修実施

教員の意識改革のための取組(3)

育成を目指す資質・能力グランドデザインの作成

< 3つの能力 / 12の能力要素 >

前に踏み出す力(アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



- 主体性**
物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力**
他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力**
目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力(シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



- 課題発見力**
現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力**
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- 創造力**
新しい価値を生み出す力

チームで働く力(チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



- 発信力**
自分の意見をわかりやすく伝える力
- 傾聴力**
相手の意見を丁寧に聴く力
- 柔軟性**
意見の違いや立場の違いを理解する力
- 状況把握力**
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 規律性**
社会のルールや人との約束を守る力
- ストレスコントロール力**
ストレスの発生源に対応する力

< 21世紀型スキル >

- イノベーションのための学習スキル
 - 「創造性と革新性」
 - 「批判的思考と課題解決」
 - 「コミュニケーションとコラボレーション」
- 情報、メディア、テクノロジーのスキル
 - 「情報活用リテラシー」
 - 「メディアリテラシー」
 - 「ICTリテラシー」



成果と課題

連続性のある 学習指導の ための取組

- 学習指導要領の再確認により系統性が意識化されてきている。
(学習内容の視点)
- ▲学習形態、学習方法については、教科の特性、発達の段階、小中文化等の違いを把握し、柔軟な接続の工夫が必要である。

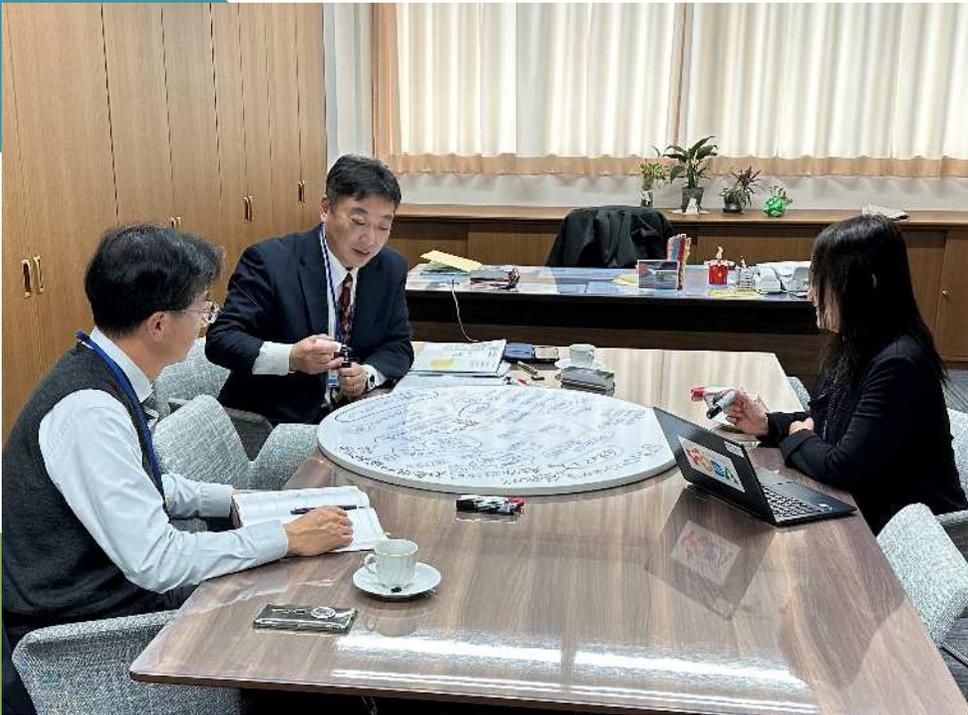
切れ目ない 生徒指導の ための取組

- 課題のある児童生徒のための環境や指導体制はほぼ整った。
- ▲一人一人の課題に寄り添う意識改革は十分とは言えない。生徒指導と教育相談では、目的と手立てを小中一貫としての研究が必要である。

教員の意識 改革の ための取組

- PBLに関する取組が、児童生徒観、や教育観を深く考える良い機会となっている。それが、各教科等にも反映されてきた。
- ▲PBLのグランドデザインづくりで、教員の意識改革をさらに進めるようにする。

ご清聴ありがとうございました



戸田第一小学校長 大沼 公子
戸田南小学校長 大森 雅彦
戸田中学校長 山田 一文

教育委員提案

令和6年第1回教育委員会(定例会)

令和6年1月18日(木)

戸田市役所3階 教育委員室

1 教育委員提案

ページ

戸田市のICT教育の現状について	1
(教育政策室)	

令和6年1月 教育委員提案

戸田市のICT教育の現状について

戸田市教育委員会
教育政策室

1 ICT教育の現状と課題

一人一台を生かした学びの構想 2016～

実践のキーワードは「Just do it」「百聞百見は一験にしかず」

教師主導の「指導と管理」による「教具的利用」から

学習者中心の「学びと愛用」による「文具的活用」へ

- ・ 定着のキーワードは“**entrust**” PCの普段使いは子供たちの方が上
- ・ 意識されず忘れるくらい当たり前、いつでもどこでも活用できてこそその一人一台

何のために使うかで価値が変わる。大切なのは、**学びの質の向上**

Pedagogy First, Community Second, Technology Third は学習指導の肝

- ・ **知の自転車たるPC**を、新たな学びの可能性と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた**授業改善に生かす**ことが大切
- ・ プリント学習からの離脱とノート離れの見直しを
- ・ PC利活用という手段が目的化し、スマートで軽い授業にならないよう注意
- ・ 学習者の活動がそのまま各自の考えの外化になるような使い方や「対話の可視化」などの模索を

PC (ICT) は**魔法の杖ではない**。「技術」が解決するのではなく「活用」によって解決される **教師の存在が一層大切になる**

- ・ 時には究極のチョーク&トークの授業にもチャレンジ
- ・ 単なる若手ではなく**指導力のある教師が活用**してこそ校内に広がる

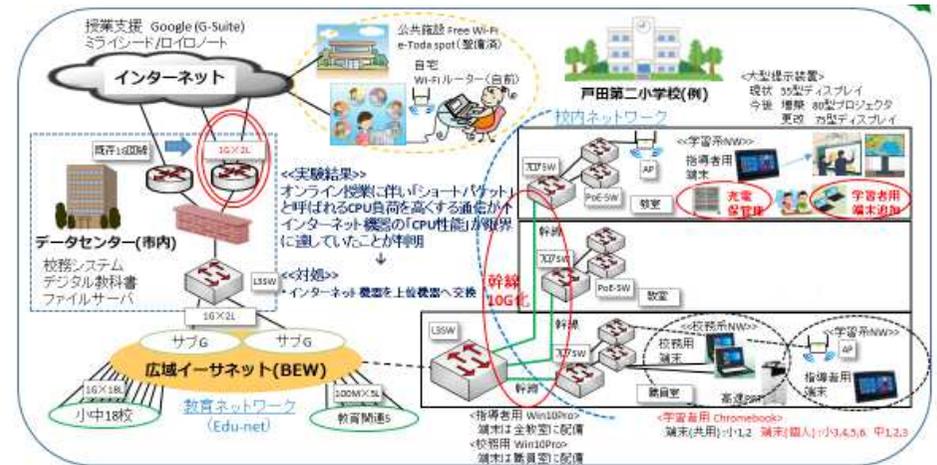
視野の外部や他者理解のため、**アナログとデジタルの融合**を

- ・ 学校図書館のニーズが高まる。メディアセンターとしての役割の機能強化を

1 ICT教育の現状と課題

GIGAスクール構想の実現に向けた取組 2020～第2フェーズ

- **教育データの利活用**（学びのカルテ、生徒指導上のSOSの早期発見など）
- **戸田型オルタナティブ教育**（多様なニーズに応じ、落ちこぼれも吹きこぼれも、誰一人取り残されない教育）へのトライアル
- **デジタル・シチズンシップ教育**の充実や**メディアリテラシー**の挑戦
- **学校と家庭等との日々のシームレスな学び**（クラウド化の深化や反転学習）
- **デジタル教科書**や**CBT**が快適に機能するネットワーク環境の強化
- 高度で最先端の学びを実現できる「**次世代のメディアルーム**」
- 公立小・中学校での**STEAM教育の基盤づくり**



1 ICT教育の現状と課題

- **1人1台端末を活用した学び**をより効果的なものとしたい。
市内全小・中学校 に電子黒板機能付きプロジェクタを導入。
黒板的な板書のみにとどまる教師と機能を最大限活かす教師の活用方法の違い
1人1台の学習用端末と併用することによる協働的な学びや質の高い学びを実現する好事例の横展開
- **デジタルシティズンシップ教育**の本格導入。
令和5年度内に各校の年間指導計画に位置づけ、令和6年度は市内全校にて計画的な実施を行う。
- **令和の日本型学校教育の実現**に向けて
非同期の学びへの挑戦。
ICTの特性を活かし個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指す。
従来型の一斉指導から脱却できない教師も多く、新しい学びに取り組む学校や教師に伴走し、好事例創出を支援する。
- 指導者用**デジタル教科書**の導入、学習者用は未導入（実証研究のみ）
学校によりデジタル教科書の利用状況が異なる。
実証研究以上の好事例創出の動きをとれていない。

2 教師のICTスキル向上を目指した研修の実施状況

教科教育深化プラン

- ・PBLが各校において推進されている今こそ、SEEPプロジェクトの原点である「Subject（教科教育）」を深化させ、それらを車の両輪として子供達の学びを充実していく必要。
- ・そのために、**教師間の同僚性**を高めつつ、共通的な基盤である**授業づくりの視点**と、教科の学びに夢中になるような、各教科固有の「**見方・考え方**」を働かせる**視点**の双方を強化していく。

文科省「教員研修高度化モデル事業」を活用

3本の矢からなる「教科教育深化プラン」

共通的な基盤である授業づくりの視点の浸透

「アクティブラーニング指導用ルーブリック」の更なる改善



RST（リーディング・スキル・テスト）の視点と、ユニバーサルデザインやICTの視点も組み合わせた、子供達のつまづきに対応した授業改善を全校で実施

「学級経営ルーブリック」（仮称）の策定検討



教師間の学び合いの場の拡充

各中学校区で小中の教師がお互いに授業を見合う機会を促進



夏季専門研修で、指導主事が教科指導の悩みを教師から聞いたり、教科の魅力を熱く語る機会を設定（選択必修参加）



教科等研究部会での大学等から講師を呼んでの授業研究を支援

センター研究員制度について、参加者の拡大と運営の活性化



教育委員会によるサポート体制の充実

各教科の、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点を授業と紐付けて提示



モデル校4校における、大学・民間と連携した校内研修・授業研究等の高度化への支援

大学と連携した算数・数学、体育の研修の充実

●学校経営アドバイザーによる訪問の充実

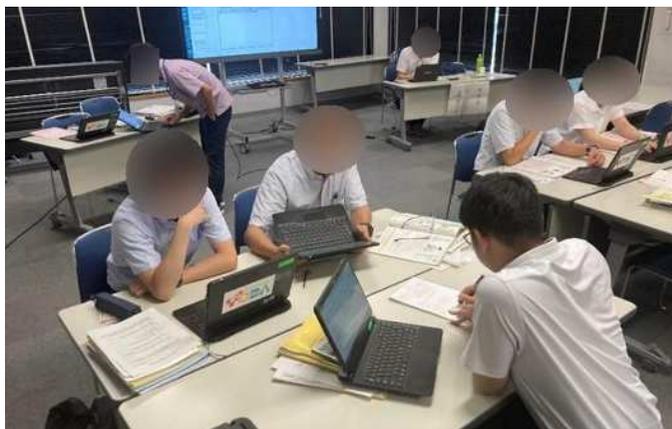


子供達の学びと教師達の学びは「相似形」
教師にも「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を！

2 教師のICTスキル向上を目指した研修の実施状況

令和5年度 教科等指導法研修及び専門研修

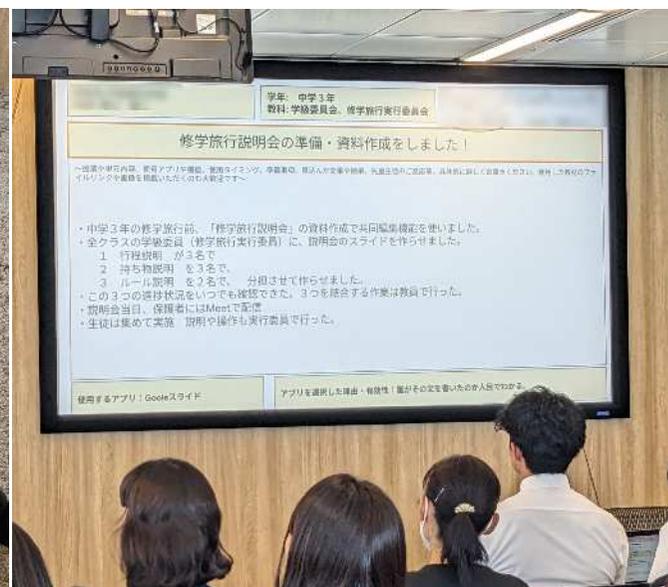
市内教職員を対象に選択必修で実施した教科等指導法研修会及び専門研修においては、研修の目的を達成させるため、**各担当指導主事が意図的に端末の活用を計画し、考えの可視化や共有による対話の活性化を図った。**



2 教師のICTスキル向上を目指した研修の実施状況

令和5年度 夏季専門研修 Google Workspace 活用力向上研修会

Google LLCの講師によるGoogle Workspaceの活用研修を行った。**市内全小・中学校1名以上を悉皆**とし、任意で複数の参加も認め、32名の教職員が受講した。**ICTが不得手な教員にも効果的な研修**となった。



受講者の感想

・子供たちがChromebookより使いやすいように指導することができそうだと感じました。**共同編集ができるGoogleのツール**をより実践的に学習で使う方法についてイメージすることができ、早速教材研究したいと思いました。

・初心者なので**ツールの使い方を含めて、どんな場面で使うと効果的なのか**、自分自身が実際に使ってみたり、他校の先生から話を聞いたりして新たな引き出しを作る事ができた。

2 教師のICTスキル向上を目指した研修の実施状況

令和5年7月7日 戸田市プログラミング・ICT研究推進委員会開催
既に全校に電子黒板が設置されている戸田東小・中学校に**市内全校の推進担当者を集め、授業研究会を行った**。電子黒板の活用に関する協議題を設定し、活用方法に関する参加者同士で議論を深めた。また、戸田市教育委員会で運営している**ポータルサイトを再度周知**した。



2 教師のICTスキル向上を目指した研修の実施状況

令和5年8月4日 情報マネジメント研修会

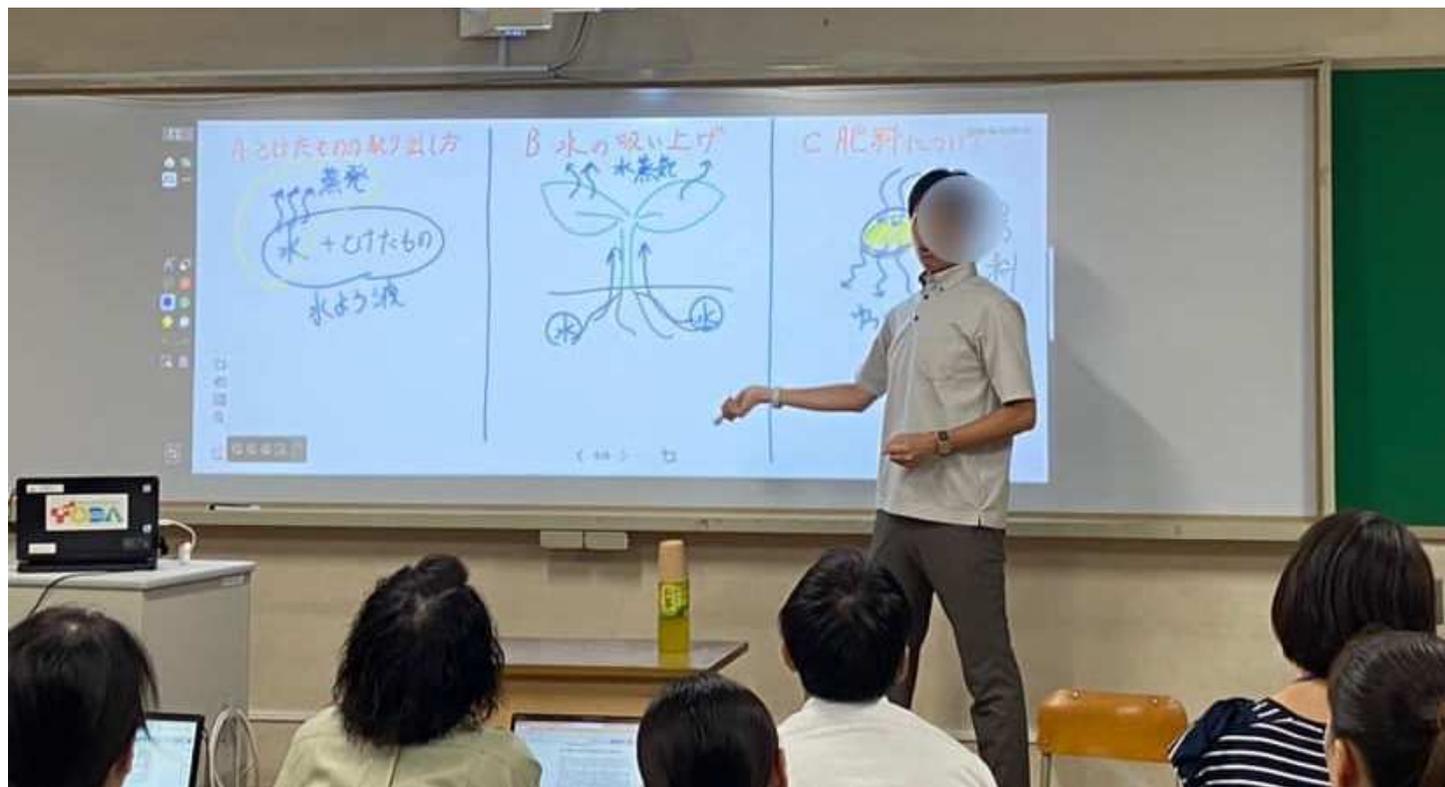
戸田第一小学校の新校舎、5学級を借用し、休み明けから導入される**電子黒板のハンズオンの研修**を行った。全体で基礎的な使い方を学んだ参加者は、グループに分かれ、**授業に活かせる効果的な活用を試行**した。



2 教師のICTスキル向上を目指した研修の実施状況

令和5年夏期休業中

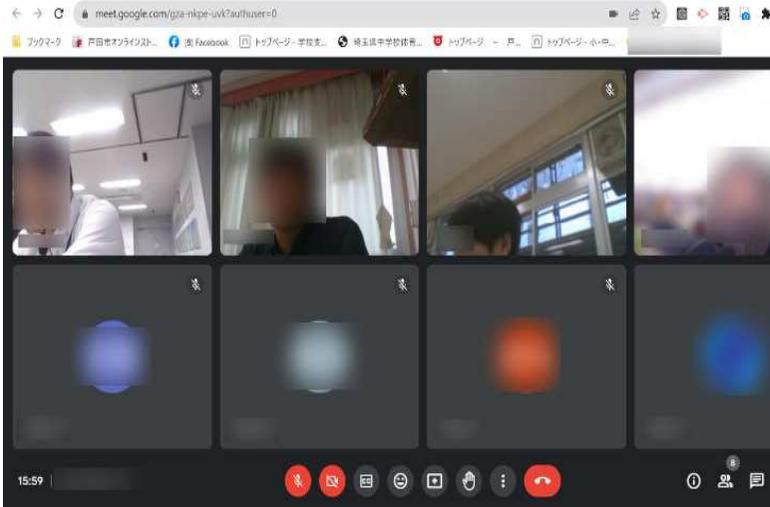
富士電機ITソリューションズの担当者らが、設置を終えた**学校ごとに訪問し、教職員を対象とした電子黒板の活用研修**を実施した。また、**さらに研修時間を確保し、効果的な活用を模索している学校**も見られた。



2 教師のICTスキル向上を目指した研修の実施状況

令和5年9月8日 プログラミング・ICT研究推進委員会開催

夏休み明けの運用状況のフォローアップのため、標記委員会を開催し、効果的な活用方法や困り感等を共有した。



【グループ協議の様子】

Eグループ 「電子黒板機能付きプロジェクトの活用について」 現状

授業(他教科含む)

使える機能を理解して問題なく使いこなせている

慣れは人それぞれだが、試行錯誤しながら使っている。

思ったよりも戸惑いはなく使えている。

子供たちの活動

委員会活動などでは教師がいなくても児童同士で活用することができる

当番活動を使って電子黒板の使い方を児童に指導中。ペンの使用は問題なし。サーバーへのアクセスは禁止中

学級での話し合い、答えを黒板に書くなど、ひとまずホワイトボード機能で書くことはできている。

有効な場面

板書が前時の続きの場合には非常に助かる

図表を映して書き込む使い方がとりあえず便利と公表

ワークシート形式で授業を進めた際、穴埋めのような形でまとめているのは板書量が減るので楽

道徳の場面絵や社会の資料をホワイトボードに入れ込むときにスクショですぐに貼れるのが便利

活用の幅を広げる取組(研修等)

本校では4~6年生が早く導入され、1~3年生は夏明けからの導入のため、情報部が使い方の研修を行う予定。(今月中)

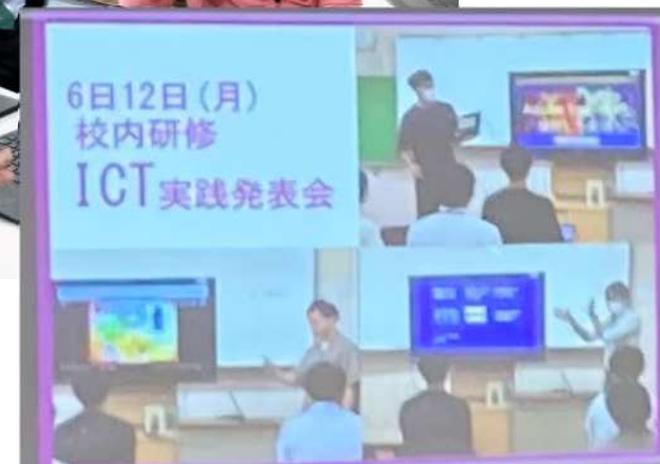
夏休み明けに使い方の研修があった。あとは、得意な人が広めたり、その授業を受けた生徒が他の先生に教えている。

同じ板書や課題を使いまわせるので教科担任制としては使い勝手が良い

2 教師のICTスキル向上を目指した研修の実施状況

各学校での研修

市内各小・中学校においては、**各学校ごとにICTスキル向上を目的とした研修を設定し、ICT活用のノウハウを伝達し合っている。**



2 教師のICTスキル向上を目指した研修の実施状況

学校訪問による指導・助言

学校訪問の機会を捉え、授業者に対して各教科等の指導主事が、**個別且つ具体的に、ICT活用の改善方法**についても指導・助言している。



3 保護者や市民へのICT教育の必然性の啓発について

子供の学びを語る会の開催について

ICTを活用した学びについて、保護者を対象とした**子供の学びを語る会**を実施した。**保護者がデモ授業を体験したり、教員と一緒に協議したりする場**を設定した。



子供の学びを語る会 (戸田第一小学校)



子供のDCをどのように育んでいくべきか、保護者と共に考え、意見交換する場を設定。

3 保護者や市民へのICT教育の必然性の啓発について

学校だよりの巻頭言での周知

各学校においては、**学校だよりの巻頭言で取り上げたり、担任から懇談会等を通じて保護者に説明**をしている状況である。



【学校の教育目標】
夢と希望をもち、未来社会を
心豊かにたくましく生きる
児童の育成

たんぽぽ

戸田市立喜沢小学校 令和5年6月1日 6月号

デジタル社会だからこそ大切に育てたい「学びに向かう力」と「主体性」

校長 手塚 浩

5月27日のきざわんピックでは、保護者、地域の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。今年のきざわんピックは、これまで以上に計画の段階から子供たちが意見を出し合い、練習のときも取り組み方や作戦を自分たちで考えたり、話し合ったりしてきました。当日は道具の準備や運営を含め、これまで主体的に一生懸命取り組んできた成果が発揮されました。その姿に大きな拍手や声援をいただいたことは、子供たちにとって大きな自信につながったことと思います。

さて、近頃、新聞や報道番組で取り上げられない日がないほど対話型AIサービス「チャットGPT」が話題になっています。このサービスは、生成AIの一つで利用者の求めに応じてパソコンやスマートフォンから文章を聞くに作られています。そして、利用登録すれば13才以上の誰もがすぐに使うことができます。昨年11月に無料公開されてから、2か月間で利用者が1億人を超えるほど世界中で急速に広がっています。様々な分野での活用が期待される反面、オンライン上にある膨大なデータを読み込んで文章を生産することから悪用せずに著作権を侵害してしまうこと、オンライン上の偏った意見や誤った情報が反映された文章が作られてしまう可能性等があるなど、多くの問題も提起されています。

生徒や学生がこうした生成AIを学ぶに利用することについても様々な議論があります。問題点と思われる一つに、論文やレポートを作成する際に生成AIを利用し、生成された文章をそのまま提出してしまう恐れがあることが挙げられています。チャットGPTの利用は13才以上からとなるので、一見すると小学生とは関係ない問題のように思われます。しかし、これはチャットGPTの利用に限った問題ではありません。本質的な問題は、課題を提出すること自体が目的となってしまうことです。本来学びは「提出する必要があるからやらなければならない」ものではありません。自分自身が興味・関心を持ち、主体となって学び始めるからこそ自分事となり、学ぶ楽しさを感じることができ、学びの根幹となる「学びに向かう力」と、自分を見つめ直して進んで学びや活動に取り組む「主体性」は、小学校段階だからこそ大切に育てたい力です。

AIの進化は加速度を増し、社会生活へも急速に浸透してきます。既に生成AIは文章だけでなく、音声や画像も生成できるようになっています。近い将来には、現在のインターネットのように誰もが当たり前のよう利用し、よふ人々の生活を豊かにするツールとして多くの人や企業が活用しているかも知れません。ただ、どんなに高度なデジタル社会になっても主役は人で、これからの未来社会を生きていく子供たちには、AIを排除するのではなく、AIに依存するのではなく、AIでは代替できない力・AIを使いこなす力を身に付け、どんな社会の変化にも自分らしく心豊かにたくましく生きぬく力が求められているのではないのでしょうか。

戸田市立笹目小学校 令和5年度9月号

笹目小だより

戸田市笹目6丁目9番地の1 TEL:421-3524 児童数267名
笹目小学校 研修 <https://www.tadano.ed.jp/site/sasagume/>

新たな教室の風景
～ホワイトボードとプロジェクトが導入された～
校長 武藤 昌博

夏休みが終わり、子供たちが学校に戻ってきました。元気に登校する姿から、本校の目指す「かしこさ」「やさしさ」「たくましさ」を夏休み中にも発揮したことがうかがえました。

本校では、6月から始まった外壁工事が、夏休み中に集中して行われました。それ以外にも、教室の黒板をホワイトボードに変更する、電子黒板機能付きプロジェクトを設置する工事が行われました。また、全ての証明をLED化する事も同時に始まっています。保護者の皆様や地域の皆様には、大変ご迷惑をおかけしております。今後外壁工事は続きますので、ご不便をおかけいたしますが、引き続きご協力をお願いいたします。

さて、一人一台のタブレット端末の貸付により、子供たちの学びは大きく変わりました。この度のホワイトボードとプロジェクトの設置によって、さらに、豊かで効果的な学びの環境を提供することができるようになります。教室の風景は、今後さらに変化すると思われます。

すでに、本校では、これまでの教師が「与えて、させて、見回る」いわゆる昭和の斉指導を改め、教師は伴走者に徹し、「聞いて、助けて、支えて、見守る」授業に取り組んでいます。「教育活動を子供さんなかに」を基本とし、子供たちが主体的に学びに向かうよう改善を図っています。この度のホワイトボードとプロジェクトの導入によって、子供たちの好奇心を刺激し、より深い理解を促すことができるようになります。また、子供たちの発表やプレゼンテーションを行う機会がこれまで以上に充実しますので、自信と表現力が向上すると考えられます。

<https://www.city.tadano.saitama.jp/hokyo/tadano2025/01/26/02-03.pdf> (教育広報とだ)
夏休み中に、子供たちはたくさん読書を読み、本校の目指す「かしこさ やさしさ たくましさ」を身に付けてきました。夏休み明けには、家庭で身に付けた力をもとにしながら、学校の新しい環境を有効に活用し、さらに子供たちの「かしこさ やさしさ たくましさ」を発揮させてまいります。

保護者の皆様におかれましては、授業参観やボランティア活動等、本校の際には、新たな教室の風景をご覧いただき、令和の学校教育を感じただけでいただければと思います。夏休み明けの本校の教育活動にもご期待ください。

☆日々の教育活動を Facebook にて配信しています。下記URLからアクセスください。
笹目小学校 Facebook <https://www.facebook.com/sasagume/>
笹目っ子の学びの姿をより多くの人々に伝えていきたいと思ひます。
ぜひ「いいね」「フォロー」をお願いします。

①楽しく学ぶ子ども ②意欲で働く子ども ③結果でたくましい子ども ④思いやりのある子ども

笹目東小だより

戸田市立笹目東小学校 令和5年5月25日 戸田市立笹目東小学校 <http://www.tadano.ed.jp/shina/sasagumigaku/>
児童数244名 男子133名 女子111名 電話421-3-6574

1人1台端末と電子黒板の活用！
～未来社会で、まぎて働く力を身につけるために～

校長 片岡 昭博

夏休みが終わり、今日から、前期の後半が始まりました。夏休み前にお知らせした通り、お家や地域で自分から「ここに」と挨拶をしたり、「きびきび」と規則正しい生活心がけ、「わいわい」と日頃、疑問に思っていることなどをタブレットを使って調べ、自分で課題を見つけて夏休みの学習に取り組むように伝えました。

今朝、子供たちが元気に登校する姿を見て、それぞれ、充実した夏休みを過ごすことができたのだと感じているところです。

子供たちは、日頃の学習において、タブレットを文房具のようになっています。そのICTの活用をより充実させるため、これまで使用してきた大型提示装置(テレビ)をなくし、黒板をホワイトボード化するのと同時に、大型提示装置(電子黒板機能付きプロジェクト)が全ての教室に設置されました。これにより、プログラミング教育やPBLといったクリエイティブな学習がよりいっやくなります。

授業内容や連絡事項を児童に見せるだけでなく、普通の黒板と変わらないかと思われませんが、黒板では、毎回書いて消す時間がかかる上に、一度消した情報は元に戻りませんが、電子黒板なら、内容を保存し、後から必要に応じて呼び出して確認することができるようになります。

もちろん学習の内容によっては、電子黒板を使わない学習もありますが、例えば算数の授業で、児童の解答を一齐表示し意見交換を充実させたり、デジタル教科書を表示し前回の授業の内容を振り返ったり、今日の授業で学ぶ課題を大きく表示することができるようになります。また、学習のめあてなど授業時間全体を通して見せない部分はホワイトボードに教員が書き添えるなど、デジタルとアナログの良い面を活用し、児童がそれぞれ目をそらすことなく、見たい部分をフォーカスすることが可能になります。

さらに、児童それぞれが端末に書き込んだ解答を電子黒板で意見共有したり、解き方が異なる児童の解答をピックアップして大きく表示したり、児童と教員、児童同士のやり取りが生まれる場面を電子黒板で生み出すなど、児童にとっても授業が分かりやすくなるものと期待しています。

本校では、これからのGIGA スクール構想を推進し、デジタル・リテラシー教育を進めながら、児童一人一人が未来社会で、まぎて働く力を身につけるための学びをこれからも進めていきたいと考えておりますので、保護者の皆様には、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

学校の教育目標 かしこく やさしく たくましく
家庭と学校の絆

美女木小だより

戸田市立美女木小学校 戸田市美女木2-3-3-1 TEL:421-1037 児童数670名

変化と進化

校長 田野 正教

4月から始まった前期が、6日に終業式を迎えます。ちょうど今、前期の学習のまとめの時期です。これまで取り組んできた学習等について、どんなことをがんばってきたか、また、後期に向けてどんなことに力を入れていきたいか、一人一人振り返りを行っています。御家庭でもぜひ、がんばってきたことをたくさんほめて、後期への意欲を高めていただきますようお願いいたします。

さて、学校ではこの夏、教室の黒板がホワイトボードになり、電子黒板機能付きのプロジェクトが設置され、教室環境や授業の様子が大きく変化してきています。

これまで学校では、明治時代から約150年の長きにわたって変わらずに、黒板が、知識や情報の伝達、また意見や考えの共有等のため、教師と児童を結びつけるインターフェースの役割を担ってきました。それが、1人1台のタブレット端末を活用するようになり、教師から一斉に児童へ教えるという一方向的な学びから、児童同士の学び合いを教師が支援・伴走するような双方向的な学びへと変化し、それに伴い、黒板に求められる役割も変化しています。

もちろん、これまで黒板が担ってきた情報の提示や伝達、共有などの役割は変わりません。しかし、電子黒板機能には、これまでの黒板ではできなかった資料などの拡大縮小や書き込み、また正確な図形描写や複写、移動などに加え、保存と読み出しなど、デジタルならではのメリットが多くあります。

これにより、例えば、タブレット端末に入力した自らの考えを提出して共有したり、プレゼンを提示して発表したり、それらをともに意見を出し合ったりすることなどが簡単にできるようになり、児童のアウトプットを重視した双方向的な学びへ進化させることが可能となります。教室環境の変化から学びの進化へ、今まさに動き出しているところです。

かつて、スマホの普及の裏側で、日本のゲームがガラパゴス化していることと指摘されました。学校教育もガラパゴス化しないよう、社会の変化を取り入れながら日々変化、進化していくことが重要です。10年後、20年後の子供たちが活躍する未来社会を見据えながら、子供たちに生きて働く力を身に付けられる学びへと進化していく学校教育を目指してまいります。

3 保護者や市民へのICT教育の必然性の啓発について

戸田市教育委員会noteでの発信

戸田市教育委員会の公式のnoteにおいて、「ICTは知の自転車！戸田市のGIGAスクール構想」と題して2回記事を掲載している。

note

キーワードや作者名で検索

ログイン

会員登録

note

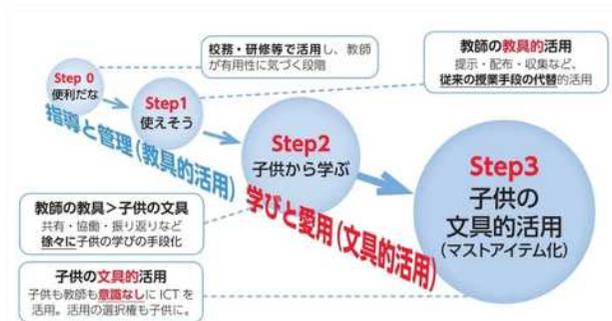
キーワードや作者名で検索

ログイン

会員登録

「指導と管理」から「学びと愛用」のICTへ

2016年当初から、ICTを「たまに使う特別な道具」ではなく、「子供たちが日常的に、当たり前を使う文具」としての活用が必要であると考え、教師による「指導と管理」から子供たちの「学びと愛用」のICTを合言葉に活用を進めてきました。



ICTがマストになる学びの推進

2017年～
プログラミング教育



2019年～
PBL (プロジェクト型学習)



2021年～
STEAM教育の視点



研修の態様の変化



- 参集 → オンライン
- 悉皆 → 希望者
- 教科 → 教科不問
(教科はセンター研究員制度で)
- スキル → 活用方法
※ 全体的な研修の見直し

産官学の知のリソースを活用した「脱・自前主義」

産官学との連携は同時に、閉じられがちな学校文化に社会の風を取り入れることにもつながり、マインドセットの変容にも大きな影響を与えてきています。

おわりに

戸田市は、ICT活用に関して全国及び海外から視察が相次ぐなど全国的に注目されている状況であり、GIGAスクール構想の先進自治体の1つとも考えられる。様々な研修等の実施により、ICTの活用が学習面だけでなく校務のDX化にもつながっていると考えられる。

しかしながら、活用には学校間格差や学校内格差も生じている現状があるのも事実である。子供たちの学びと教師の学びは相似形であることを踏まえ、教師にもICTをマストアイテム化した個別最適で協働的な研修の場を提供することで、子供たちの学びをより一層充実させていく。

報告事項

令和 6 年第 1 回教育委員会(定例会)

令和 6 年 1 月 1 8 日 (木)

戸田市役所 3 階 教育委員会室

1 報告事項

ページ

戸田市立小・中学校令和5年度卒業式及び令和6年度入学式等の日程及び 参列者について……………	1
(学務課)	
大谷選手によるグローブの寄贈について……………	3
(教育政策室)	
戸田市民大学公開講座の開催について……………	5
(生涯学習課)	
その他	

資料

戸田市立小・中学校令和5年度卒業式及び
令和6年度入学式等の日程及び参列者について

戸田市立小・中学校 令和5年度卒業式及び令和6年度入学式等日時一覧表

学 校 名	令和5年度卒業式			令和6年度入学式			令和6年度 前期・第1学期始業式		
	月/日	曜日	時 刻	月/日	曜日	時 刻	月/日	曜日	時 刻
戸田第一小	3月22日	金	午前9時00分	4月9日	火	午後1時30分	4月8日	月	午前8時45分
戸田第二小	3月22日	金	午前9時30分	4月9日	火	午後1時30分	4月8日	月	午前8時40分
新 曾 小	3月22日	金	午前9時30分	4月9日	火	午後1時30分	4月8日	月	午前8時50分
美 谷 本 小	3月22日	金	午前9時30分	4月9日	火	午後2時00分	4月8日	月	午前8時45分
笹 目 小	3月22日	金	午前9時30分	4月9日	火	午後2時00分	4月8日	月	午前8時50分
戸 田 東 小	3月22日	金	午前9時00分	4月9日	火	午後2時00分	4月8日	月	午前8時40分
戸 田 南 小	3月22日	金	午前9時30分	4月9日	火	午後2時00分	4月8日	月	午前8時40分
喜 沢 小	3月22日	金	午前9時30分	4月9日	火	午後2時00分	4月8日	月	午前8時50分
笹 目 東 小	3月22日	金	午前9時30分	4月9日	火	午後2時00分	4月8日	月	午前8時30分
新 曾 北 小	3月22日	金	午前9時30分	4月9日	火	午後1時30分	4月8日	月	午前8時50分
美 女 木 小	3月22日	金	午前9時30分	4月9日	火	午後1時30分	4月8日	月	午前8時45分
芦 原 小	3月22日	金	午前9時00分	4月9日	火	午後2時00分	4月8日	月	午前8時45分
戸 田 中	3月15日	金	午前9時30分	4月8日	月	午後1時30分	4月8日	月	午前9時00分
戸 田 東 中	3月15日	金	午前9時30分	4月8日	月	午後2時00分	4月8日	月	午前8時50分
美 笹 中	3月15日	金	午前9時30分	4月8日	月	午後1時30分	4月8日	月	午前9時20分
喜 沢 中	3月15日	金	午前9時00分	4月8日	月	午後2時00分	4月8日	月	午前8時50分
新 曾 中	3月15日	金	午前9時30分	4月8日	月	午後2時00分	4月8日	月	午前9時15分
笹 目 中	3月15日	金	午前9時20分	4月8日	月	午後1時30分	4月8日	月	午前9時00分

時刻は、開式の時刻です。

戸田市立小・中学校 令和5年度卒業式・令和6年度入学式参列者一覧(ふりがな付き)

令和5年12月26日 現在

1 小学校の卒業式・入学式

()内は人事異動により変更の可能性あり

No.	学 校 名	卒業式 令和6年3月22日(金)午前		入学式 令和6年4月9日(火)午後	
		氏名	氏名	氏名	氏名
1	戸田第一小学校	教育委員会事務局参事 梶山 浩 かじやま ひろし	教育委員 浜田 美咲 はまだ みさき		
2	戸田第二小学校	教育政策室長 横田 洋和 よこた ひろかず	教育政策室担当課長 (杉森 雅之) すぎもり まさゆき		
3	新曽小学校	学務課長 河西 誠 かさい まこと	生涯学習課長 (鎌田 陽子) かまた ようこ		
4	美谷本小学校	教育長職務代理者 仙波 憲一 せんば けんいち	学務課長 (河西 誠) かさい まこと		
5	笹目小学校	教育政策室担当課長 杉森 雅之 すぎもり まさゆき	教育政策室長 (横田 洋和) よこた ひろかず		
6	戸田東小学校	生涯学習課長 鎌田 陽子 かまた ようこ	教育長職務代理者 (仙波 憲一) せんば けんいち		
7	戸田南小学校	教育委員 浜田 美咲 はまだ みさき	教育委員会事務局参事 (梶山 浩) かじやま ひろし		
8	喜沢小学校	教育委員 木村 雅文 きむら まさふみ	教育委員 長道 修 ながみち おさむ		
9	笹目東小学校	教育総務課長 金澤 哲 かなざわ さとし	教育部長 (川和田 亨) かわわた とおる		
10	新曽北小学校	教育長 戸ヶ崎 勤 とがさき つとむ	教育委員 木村 雅文 きむら まさふみ		
11	美女木小学校	教育部長 川和田 亨 かわわた とおる	教育長 (戸ヶ崎 勤) とがさき つとむ		
12	芦原小学校	教育委員 長道 修 ながみち おさむ	教育総務課長 (金澤 哲) かなざわ さとし		

控え 生涯学習課長兼郷土博物館長 高屋 勝利 たかや かつとし
 学校給食課長 増澤 直哉 ますざわ なおや
 教育政策室教育センター所長 伊藤 和三 いとう かずみ

2 中学校の卒業式・入学式

()内は人事異動により変更の可能性あり

No.	学 校 名	卒業式 令和6年3月15日(金)午前		入学式 令和6年4月8日(月)午後	
		氏名	氏名	氏名	氏名
1	戸田中学校	教育委員 長道 修 ながみち おさむ	教育長職務代理者 (仙波 憲一) せんば けんいち		
2	戸田東中学校	教育委員会事務局参事 梶山 浩 かじやま ひろし	教育部長 (川和田 亨) かわわた とおる		
3	美笹中学校	教育部長 川和田 亨 かわわた とおる	教育委員 浜田 美咲 はまだ みさき		
4	喜沢中学校	教育長 戸ヶ崎 勤 とがさき つとむ	教育委員 長道 修 ながみち おさむ		
5	新曽中学校	教育委員 浜田 美咲 はまだ みさき	教育長 (戸ヶ崎 勤) とがさき つとむ		
6	笹目中学校	教育長職務代理者 仙波 憲一 せんば けんいち	教育委員 木村 雅文 きむら まさふみ		

控え 教育政策室長 横田 洋和 よこた ひろかず
 学務課長 河西 誠 かさい まこと
 教育政策室担当課長 杉森 雅之 すぎもり まさゆき

控え 教育委員会事務局参事 (梶山 浩) かじやま ひろし
 教育政策室長 (横田 洋和) よこた ひろかず
 教育政策室担当課長 (杉森 雅之) すぎもり まさゆき

3 市長が参列する学校

市長：菅原文仁 すがわら ふみひと

卒業式	入学式
令和6年3月22日(金)午前	令和6年4月9日(火)午後
新曽北小学校	美女木小学校
令和6年3月15日(金)午前	令和6年4月8日(月)午後
喜沢中学校	新曽中学校

大谷翔平選手によるグローブの寄贈について



令和6年1月4日 受領
令和6年1月5日 市内各小学校へ配布 3



学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。
貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

令和5年度 戸田市民大学 公開講座

『お天気のコミツ、全部教えます！』

講師

気象予報士・お天気キャスター
株式会社ウェザーマップ 会長

森田 正光 氏

日時 令和6年3月2日(土)

《14:10~15:40》

※14:00より閉講式

会場 文化会館304会議室

対象・定員 市内在住・在学・在勤者

会場参加90名 ※先着順
オンデマンド配信あり(講座終了後、期間限定・申込者限定で
撮影動画を公開)

申込 電話・メール・FAXにて下記まで。

- ※2月1日(木)8時30分から申し込みを開始します。
- ※オンデマンド参加をご希望の方には、お申込みいただいたメールアドレス宛に URL をお送りします。
- ※動画の録画や二次使用は禁止します

【お申込み・お問合せ先】

戸田市民大学事務局(教育委員会 生涯学習課)

電話:048-441-1800(内線308) FAX:048-432-9910

メール simin-daigaku@city.toda.saitama.jp

【HPはこちら】

<https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/375/kyo-syogaigaku-koukaikouza.html>

《プロフィール》

財団法人日本気象協会を経て、1992年初のフリーお天気キャスターとなる。同年、民間の気象会社株式会社ウェザーマップを設立。親しみやすいキャラクターと個性的な気象解説で人気を集め、テレビやラジオ出演のほか全国で講演活動を行っている。

▼お申込みはこちら▼

